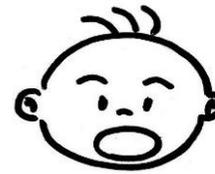


Hada no kea no shikata

Hada no hyoumenno baria ga kowareruto, iroirona seibun wo kyuusyuu shiyasukunari arerugi-syoujyou ga deyasukunarimasu. hada wo kireinishite, arerugi-wo fuseideikimasyou.



akacyan wa jibunde dekinainode, mama ga shiteagetene.

taisetuna koto

1. Yogore(ase/yodare/nyou/ben) wo otosu.

- nyuuyoku no toki wa sekken wo tukai,shikkari arainagasu.
- nuno de fuku toki wa yawarakai nuno wo nurashite, kosurazu ni fuku.

2. Kansou sasenai.

- nyuuyoku no ato ya fuita ato wa hoshitukuri-mu wo nuru.
- *hoshitukuri-mu wa hada ni attamono wo erabu.

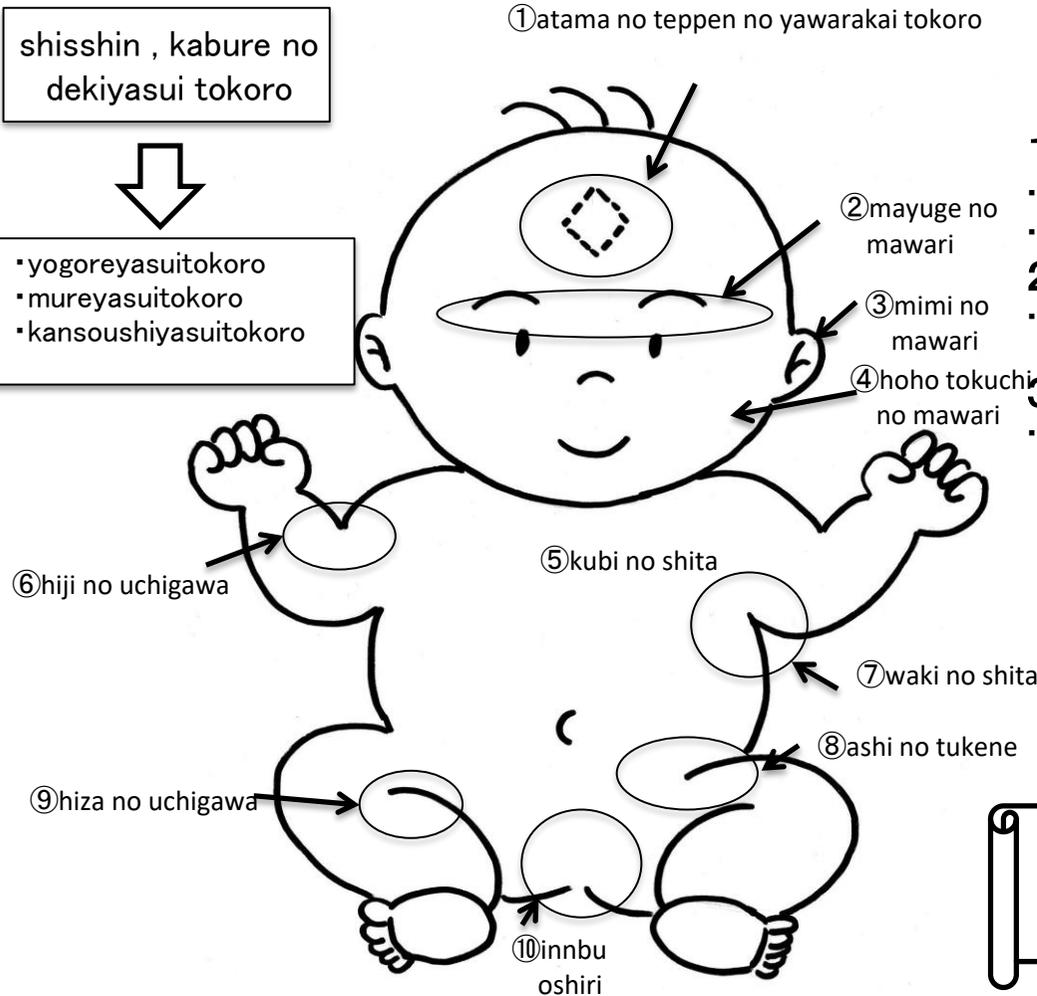
3. Yogoreta omutu ya fuku wa komameni kaeru.

- oshiri wo yoku kawakashitekara omutu wo ateru.
- *oshirifuki wa suibunn ya aruko-rubun wo nokoshiyasuinode,cyui.

Point

- ①②wa kiroi shibou ga kasabuta no youni narukotogaarimasu. nyuuyoku no 30fun~1jikan mae ni bebi-oiru nadono yusei no mono wo tappuri tukete yawarakaku shitekara,sekken de shikkari araimasyou. aratta ato wa shikkari susuidekudasai.

hada no jyoutai ga kininaru toki ya kea wo shitemo yokunaranai toki wa syounika ya hifuka no ishi ni soudan shimasyou.



Q.皮膚の働きとは？

皮膚は体の外からの様々な刺激を体の中に入れないようにするバリア機能を持っています。また、体の中の必要なものを外に出さないよう守ってくれます。

Q.皮膚のバリア機能が失われると？

バリア機能は乾燥(カサカサ肌)で失われ、皮膚炎の原因なる物質が体内に入りやすくなり、アトピー性皮膚炎をおこしやすくなります。

Q.皮膚のバリア機能を助けるためには？

汚れを上手に落とし、保湿することが大切です。

肌をきれいにし、しっとりさせる

Q.スキンケアとは？

皮膚のバリア機能を整え、いろいろなものが入っていきにくい健康な肌を保っていくこと。

もともと乾燥して、ヒビのはいりやすい性質の子の場合、少しでも健康な肌の状態に近づけていくこと。

Q.よごれとは？

よだれ・おしっこ・うんちだけでなく、自分の体から出てくる皮脂も古くなれば皮膚を刺激します。乳児の場合、頭部・わき・ひじの内側・股のつけねにべっとりした皮脂がつくことがあります。

Q.保湿は毎日したほうがいい？

顔を洗った後、化粧水や乳液をつけない女性はほとんどいないと思います。お母さんのスキンケア同様、子どもにも毎日かかさず保湿剤をぬりましょう。

Q.保湿は入浴後だけでいい？

授乳や抱っこで大人の服とこすれたり、汚れを落としたりすることで保湿剤がすぐ取れてしまいます。汚れを落とした後は必ず、又、日中も肌ざわりがザラザラ、カサカサしていたら薄く手のひらでのばしてぬってあげましょう。

Q.体の洗い方は？

石けんを手のひらでよく泡立てて、優しく洗ってあげましょう。

石けん分が残らないようにしっかりすすいで下さい。

Q.体を拭くときは？

皮膚はとても薄く、傷つきやすいので、決してこすらないようにしましょう。軽くおさえながら拭きましょう。

Q.ひっかき傷が増えたら？

顔や頭など1-2ヶ所のときには、スキンケアを続けることで治ることが多いです。

数が増えてきたり、赤みが増してくる時は保湿ではなく薬による治療が必要な場合があります。

傷ができるというのは「かゆい」のです。大人でも、かゆい時にはローションよりかゆみ止めを使うはず。

子どもは自分では病院に行けないし、治療することはできません。小児科や皮膚科の受診をお勧めします。